

2017年1月12日 第2264回例会
1月第1例会

RIテーマ Rotary serving humanity
「人類に奉仕するロータリー」

本年度会長テーマ
「ロータリー活動 奉仕の覚醒」

「職業奉仕月間」

◆会長時間◆

香川会長



皆さん、新年あけましておめでとうございます。今年は三が日の並びがよくなかったので、4日からお仕事の方もいらっしゃったのではないかと思いますが、お正月はゆっくりされましたでしょうか。

私は商売柄、1日しか休みはなかったのですが、1月3日に高校全体での同級生の還暦同窓会があり、42年前にタイムスリップしてきました。貴重なひと時を過ごさせていただきました。

ところでもう昨年になりますが、12月22日の夜間例会並びに家族同伴懇親会では、浜田理事並びに鈴木委員長をはじめ、親睦活動委員会の皆様には大変お世話になりました。おかげで楽しい時間を過ごすことが出来ました。改めて感謝申し上げます。半年を締めくくるに、最良の舞台を作っていただきました。

さて、今年は丁酉ひのととりであります。酉年のうんちくについては本日の「年男放談」の中でたくさん出てくると思いますので私からの解説は遠慮いたします。

今月は「職業奉仕月間」です。職業奉仕については、諫訪ロータリー情報委員長から時間が十分でない中で、色々と研修をしていただきました。私もいくつかの文献を読んでいく中で、「職業奉仕」とは、職業を通じて社会に奉仕することである。」

と、思っていましたが、必ずしも正しくないことに気が付きました。例えば、弁護士が無料法律相談を行った場合は、職業奉仕ではなく社会奉仕に当たります。

それでは、職業奉仕と社会奉仕の差は何かというと、一言でいえば受益者は誰かということです。ロータリアン以外の人が受益者となる場合が、社会奉仕であり、ロータリアン自身が受益者となる場合を職業奉仕ということになります。その証左として、2013年手続要覧の「職業奉仕」の下に「ロータリアンの行動規範」が続いて載っています。必ずしも白黒で分けることは出来ませんが、「職業奉仕」とは、職業を通して自らと職業の高潔性を高めていくことが目的であると改めて感じた次第です。

2017年はトランプ大統領の誕生など、激動の年になりそうですが、皆様にとりまして輝かしい1年になりますことを祈念いたしまして、新年最初の会長時間に代えさせていただきます。

 ロータリー財団「ポール・ハリス・フェロー認証状及び襟ピン、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー襟ピン、ベネファクター認証状」の伝達

ポール・ハリス・フェロー



香川 浩史君



古本 竜一君

うになり、メモ取りを取り入れた本格的な通訳の訓練が始まりました。11月にはフランス語プログラムの学生との合同授業と全言語プログラムの合同イベントが開催されました。どちらもスピーカー役の学生が各言語で話したスピーチを通訳役の学生が英語に通訳していくというものです。他の言語の学生との共通言語は英語のみという状況の中、全員が交代でスピーカー役と通訳役のどちらも行い、どのように感じるかを体験しました。通常の授業では、正しく抜け目なく訳をすることに集中しすぎてしまう結果、意識が自分に向いてしまいがちです。この経験によって、通訳は聞き手のために行っていることや、通訳の本来の目的は聞き手にメッセージを伝え、コミュニケーションの手助けをするということを再認識し、良い通訳はどのようなものなのかということについて改めて学ぶことができました。他言語の学生からも刺激を受けることができた点でも貴重な経験でした。

扱われるテーマに関しては、通訳やサイトトランスレーションの授業では、授業の最後に次のテーマが与えられ、次回までにそれについてリサーチし、出てきそうな用語や背景知識を学んで授業に臨みます。テーマは様々で、結婚式や卒業式のスピーチや弔辞からエネルギー問題、環境問題、IT関係、人口問題や女性の社会進出、糖尿病についてなどが扱われました。授業の準備のためにこれらを勉強したことで、知識も随分増やすことができました。

他言語の学生と受講している Computer assisted translation (CAT : 翻訳支援ツール) や Localization project management (LPM: ローカリゼーション・プロジェクト・マネジメント) の授業では、通常授業時間の前半が講義、後半が実習で構成されています。他の授業と同様に実践に重点が置かれており、実務に役立つ様々な最新のツールやシステムについて学びました。これらの授業の山場は試験のかわりに学期の最後に行われるグループプロジェクトやグループプレゼンテーションです。CATのクラスでは、グループで翻訳支援ツールを使用して翻訳をするプロジェクトを行い、それを通じて学んだことについて最後にプレゼンテーションをいたしました。各グループが架空の翻訳会社となり、教授が扮するクライアントから翻訳案件



LPMのプレゼンテーション後
グループのメンバー、教授と

を受注するという設定で、作業明細書や見積書の作成からクライアントとのミーティング、翻訳の作業までを授業で学んだことを活かして行うという実践的なものでした。大変でしたが面白いプロジェクトでした。LPMの授業では、毎回グループワークを中心に進められたのですが、こちらも各グループは架空の翻訳会社です。期末のプレゼンテーションは、各会社がある翻訳案件を勝ち取るために自社のサービスや仕組みについてアピールするプレゼンテーションを行うという設定でした。こちらも授業を通じて学んできたことを盛り込んで行うことになっており、授業の総まとめのようなものでした。まだ評価は出ていませんが、よい発表ができたと思います。

2. 試験について

翻訳、サイトトランスレーション、通訳の6つのクラスで中間試験と期末試験が行なわれ、試験結果もすべて返却されました。結果はA+, A, A-, B+, B, B-, C+のように評価され、B以上が合格点です。中間試験の結果は、英日翻訳がA、英日サイトトランスレーション、日英サイトトランスレーションがA-、日英翻訳、英日通訳、日英通訳がBでした。期末試験では、英日翻訳、日英翻訳、英日サイトトランスレーション、日英サイトトランスレーションがA-、英日通訳がB、日英通訳がB-という結果となり、課題が残りました。日英通訳については、教授からもっと英語力を上げていかないといけないという厳しい評価をいただきました。日英通訳はこれまで最も不得意で、最も上達したいものだったので、力を入れて練習してきただけに残念な結果でした。ですが、今後伸びていくことを信じ冬休み中も練習に励みたいと思います。一方で、日英の翻訳とサイトトランスレーション

ンについては、教授にクラスで一番伸びたと言っていただけ、励みになりました。

3. その他

11月2日から5日にサンフランシスコで行われたATA Annual Conference（米国翻訳者協会年次会議）に参加してまいりました。4日間にわたり翻訳通訳関連の講演やワークショップなど様々なプログラムが行なわれた翻訳者通訳者のためのイベントです。毎年米国のいずれかの都市で開催されているのですが、今年は運良くモントレーから近いサンフランシスコで開催されたため、翻訳通訳プログラムの学生は参加を特に奨励されていました。第一線で活躍している翻訳者や通訳者の方の様々な講義を聞くことができる良い経験でした。私は日本翻訳者協会（JAT）の主催する同様のイベントに何度か参加したことがあるのですが、今回は英語を中心言語のため、様々な言語の翻訳者や通訳者が参加しており新鮮でした。期間中には、私の学校MIIISの卒業生・関係者のレセプション、日本語の翻訳者通訳者のレセプションも開催され様々な方と知り合うことができたのも良かったと思います。

受入地区でのロータリーとの関わり

受け入れクラブについて、当初3つのクラブに一定期間ずつ受け入れていただける予定だったのですが、他のクラブを訪問させていただくチャンスがなかなか作れていないこともあります。Rotary Club of Monterey Pacificに現在もお世話になっています。

Rotary Club of Monterey Pacificのミーティングには、カウンセラーのLisaさんとお互いに都合がつく時に引き続き参加をさせていただいている。いつもクラブの一員として暖かく迎えてくださいます。毎日課題や勉強をこなす



クリスマスパーティーにて
Rotary Club of Monterey Pacificの皆さんと

のに必死になってしまい、学校にこもりがちなのでですが、こうしてミーティングに参加させていただくことで、様々な方の話を聞き、学校外の方々と交流できる機会を持てるのは、非常にありがたく恵まれているなと感じます。11月には、パスト・ガバナーのShirley Graceさんがクラブのミーティングにプレゼンテーションをしに来てください、久しぶりにお会いすることができました。12月中旬にはクラブのクリスマスパーティーに招待していただきました。ロータリアンの方のご自宅で行われ、美味しい軽食にプレゼント交換のゲームなど楽しいひと時を過ごさせていただきました。一方で、同クラブのイベントやロータリアンの方の関わっているボランティア活動にも誘っていただくのですが、土曜日に授業があるため、いつも都合がつかずなかなか参加が叶っていません。授業のためしようがないとはいえ、せっかくロータリーの奨学生として留学させていただいている機会を活かしきれていなことは申し訳なく残念にも思います。今後参加できる機会があればいいと願っています。



クリスマスパーティーにて
Club President のLisseさんと

直面している課題、今後の目標

英語力の強化が引き続き現在の課題です。1学期は授業のための勉強で精一杯で、英語力 자체を伸ばすための勉強がどうしても後回しになってしまいました。通訳の力が伸び悩んでしまったのも英語力がまだ不足していることが大きな要因であり、基礎の勉強をおろそかにしてしまったことを反省しています。幸いなことに長期の冬休みがあるため、この期間を利用しこれまでできてこなかった読書や語彙増強などに取り組み、来学期に備えたいと思います。

今後の目標は、もっと行動範囲や交友関係を広げていくことです。この3ヶ月間も引き続き、

目の前にある勉強をこなしていくのに必死であったため、気がつけば生活の範囲が極端に狭くなっていました。具体的には、大半の時間を日本語プログラムのクラスメイトと過ごし、行動範囲も自宅、教室、図書館と勉強会をするカフェテリアを行き来するのみの日がほとんどの状態でした。せっかく留学をしているので様々な体験をしないともったいないですし、積極的に行動範囲を広げた方が英語力向上にも役立つを感じています。他のプログラムの友人と交流したり、授業以外の活動に参加したりする時間を工夫して少しでも作っていくことがこれからのお目標です。

● 第6回理事会

日時：2016年12月1日(木) 13:40～15:15
場所：ANAクラウンプラザホテル広島 4階
「アマリリス」

報告事項

- ・理事及び委員長活動状況について
- ・11月度収支計算報告

審議事項

- ・第5回理事会議事録の承認について
- ・11月10日 ロータリー財団強調プログラム活動報告
- ・10月27日 職場訪問例会 活動報告
- ・10月 5日 「なぎさ園」電動移動装置贈呈式活動報告
- ・11月16日 広島市教育委員会子ども見守りジャンパー寄贈活動報告
- ・11月13日 IFWFR第19回国際親善宮島ウォーキング活動報告
- ・11月24日 新会員向けオリエンテーションミーティング活動報告
- ・修大附属鈴峯 I A C の研修行事としてあさひ製菓見学等の実施
- ・修大附属鈴峯 I A C 卒業生への表彰状贈呈
- ・2月卓話プログラムについて
- ・「活力あるクラブへの戦略計画」検証結果（中間報告）について
- ・平和活動検討結果（最終版）について
- ・2017-18年度理事役員承認について

協議事項

- ・広島西ロータリークラブ細則変更について

● 第7回(臨時)理事会

日時：2016年12月15日(木) 11:50～12:05
場所：ANAクラウンプラザホテル広島 例会場前
審議事項

- ・姉妹クラブ継続調印の為の台南RC表敬訪問（日程確定）について
- ・年間スケジュール変更について

● 第8回(臨時)理事会

日時：2016年12月26日(月)

審議事項

- ・2017年1月19日 職業奉仕部門クラブフォーラムについて

● 委員会報告

※ プログラム・出席委員会

出席報告 西原副委員長

本日 (1月12日・木曜日)
会員数 84名 出席者 75名
欠席者 9名 ご来客 4名
ご来賓 0名 ゲスト 1名
計 80名

前々回 (12月15日・木曜日)

出席率 100%



※ 職業奉仕委員会 荒谷委員長

次週卓話時間延長及び

クラブフォーラムについて

次週例会は卓話時間を25分延長し、職業奉仕部門クラブフォーラムを開催いたします。

13:00～13:20 卓話

「ロータリアンの職業奉仕活動の取り組みについて」

東南RC 職業奉仕・経営研究担当 澤田 清氏

13:20～13:45 グループ別討議

13:45～13:55 まとめ

● 会員記念日

祝 1月お誕生日おめでとうございます。
(7名)

岡野君 石山君 荒谷君 金本君

諏訪(昭登)君 井原君 安部君



●スマイルボックス SAA 柴田君

還暦＆酉年男（ダブル）

柳原君、土井君、荒川君

酉年男

松岡輝明君

緑寿

中岡君、香川浩史君

古希

荒谷君、古屋君、川西君、笹野君

喜寿

長谷川君

■卓 話



<年男放談>

柳原 邦典君

新年早々の例会でしかもトップバッターで、お時間をいただきましたこと、誠に有難うございます。年賀状にも書きました、還暦の酉年であります。家内も同級生にして同じ年です。今の60は昔の60とは違うと言ってくれた人がいます。感謝感激です。ちなみに、孫正義も岸田文雄外務大臣も同じ年、同級生です。

平成29年、今年は丁酉（ひのとり）えとが一周したから還暦だそうですが、再スタートという意味として都合よく解釈し、デビ夫人と出川哲朗がテレビでやってる「死ぬまでやりたい10のこと」を参考に「自分版、死ぬまでやりたい10のこと」を考えてみました。そこで、前々から考えているやりたいことを、妄想率90%で、ご披露したいと思います。

まず、いかに現社長を退いて、これは勝手な想像ですが、間違っていれば先輩方ゴメンナサイ、少々責任が軽くなるであろう、会長職になろうと思っています。時期は確定事項ではないと言われておりますが、平成天皇の生前退位と合わせて、平成30年末を目標にしています。

全体の運営責任を軽くして、新しい動力伝達機構を採用した省エネ環境対応型商品の開発に時間

を掛けられればと思っています。今後、小型の発電はあらゆるところでコンパクト化し、小型の発電用原動機の次には、高効率の増速機が相当量必要になるとを考えます。発電機を回す前の機構のことですが、現在大型の風力発電では、風車の羽のあとに高精度な増速機を抱えて発電機を回しています。その小型化に挑もうということです。高効率の目標値ですが、現在の倍にしたいと考えています。ここまでいうと専門家の方は「普段」と笑われると思いますが、真剣です。妄想が90%ということは「出来たらいいな」といった希望的観測のものですので、まあ本気にしないでください。

昨年弊社は70周年を迎えた際、ブランド名として「ヒロセイ」を掲げました。広島精機という社名を短くしただけなんですが。

ここからは私の初夢ならぬ初妄想です。世界中の人がコンパクトになった我が社のヒロセイと入った発電機を携帯し、化石燃料に頼らないエネルギーを最大限使う、エネルギーを戦争などで取り合わない、平和な世界が実現したという妄想を描いています。「口にしなければ実現はない」と堀エモンは言っています。還暦を迎え再スタートした自分は、「ヒロセイブランドで高効率な増速機を世に出し、世界の平和に貢献する」と言い続けてみようと思います。

本当に、妄想が現実になるかもしれませんし、実現したらお祝いしてください。



<年男放談>

荒川 慎吾君

今年60歳、還暦を迎えることができました荒川です。一言で言うとよくもま～病気もせず頑張ってこれたな～です。今年会社も3月で法人設立30年を迎えます。自分が60歳、会社が設立30年をこうして記念の年を迎えるのは想像も出来なかったことだと思います。60年の人生のなかの自分なりに考えた転機についてお話をします。

我が社はこれっといつて自慢できる会社ではありませんが、男性社員が入社以来一人も辞めておらず、みんなが1級建築士を持っていることです。現在わたしを含め9名です。その内3名は設立時から一緒に、前の会社からは35、6年一緒に仕事をしています。後の2人は26年前に入社、今も頑張

ってくれています。又、事務員の1人は22年間勤めてもらい、いろいろ共に苦労してくれましたが、先月12月末で無事退社いたしました。もう1人の事務員は寿退社やご主人の転勤で何人かは退社し入れ替わりましたが、退社した事務員の方も、会社の近くに来た時は会社に子供を連れてお茶を飲みに寄ってくれる人もいます。

過去の話をしてきましたが、将来についての話をするのが本来と思いますが、現在会社も落ち着いて、社員もほとんどが50歳を過ぎ、忙しい毎日を送っております。しかし今から年齢を考えると昔のようには頑張れないのが現実です。自分も後3年間は頑張ることを社員と約束しました。将来的には社員が会社を継いでくれるとも思っておりまます。ひょっとしてみんなで話をしてうまく会社を閉じることも考えるかもしれません。しかし今までお世話になったみなさまにどうやって恩返しをするかみんなで考えている最中でもあります。今まで通りやっていれば必ず良い結果は出ると信じています。身の丈以上を望まない。身の丈を知ることが一番と社員にいつも話をしています。



<新春年男放談> 土井 英幹君

作詞作曲は私の趣味ですが、仕事もあります。言うなればプロの作詞作曲家ということになります。

私の処女作は「広島のお嬢さん」です。皆実高校の文化祭に出るため放課後の教室で練習していたところ、RCCラジオの番組を週一で持っていたクラスメイトから「おもしろい曲じゃけ、わしの番組に出てくれーや」と言われ、RCCラジオに出演することになりました。曲を収録し番組にも出させていただきました。リクエストハガキも何通かきたそうです。

東京で学生として4年、社会人として4年過ごした後、広島に戻り今のSANYO KOUKOKUに入社しました。暫くして、立町ウイングというファッションビルから店内放送用の時報に付ける歌の依頼がきました。「広島のお嬢さん」を聴かせたところすぐに決定し、時報のお知らせと共に数年間流れていきました。

その後、もみじまんじゅうの藤い屋さんからテレビCMの話がきました。もみじの月という新商

品のPRをしたいというものでした。すぐにCMソングを作り持って行ったところ、すぐにOKが出、とんとん拍子でのテレビコマーシャルフィルム制作となりました。友人との合作もありますが、その後何曲か作りました。もちろん、残念ながら没になった名曲もあります。

最近、趣味で作った「ロ・ロ・ロータリー」とか「お好み焼きの唄」とかありますので、披露する機会がありましたら聴いてやってください。また、CMソング、サウンドロゴ等もロータリー価格にて絶賛販売中です。



<年男放談>

松岡 輝明君

これまで「年男」という言葉に無関心でおりましたが調べてみると、「その年の歳神様のご加護を多く受けられる」とあり、「縁起の良い」こととあります。そこで過去3回の年男の時にどんなことがあったのか、思い出してみました。

12歳！中学受験では友人たちと同じ学校へ進学したいとの思いが通じ、「普通の公立中学校」へ進学。しかも卒業式2週間前に左腕を複雑骨折し入院。ギブス姿のまま卒業式へ出席！

24歳！就職先だった東京での生活にも慣れたところで広島への帰還命令！戻った矢先、結婚すら意識していた当時の彼女とまさかの破局！その後の数年間を無理やりストイックに過ごしました。

そして12年前の36歳！当時住んでいたマンションで下の階の住人と生活騒音でトラブル勃発。毎日急いで帰宅し、22時くらいまで時間をつぶし、びくびくしながら帰宅をする日々を過ごしていました。すさまじい記憶ばかりで、正直疲れてしましました。一体どこに歳神様、いらしたのでしょうか？

「今年こそ！」きちんと歳神様を敬い、「無事、平穏に」過ごすことを目標としたいと思います。歳神様！よろしくお願いします！

● 卓話予告

日 時	テ　ー　マ
1/26(木)	「広島経済の動向」 (一財)ひろぎん経済研究所 岡崎裕一氏



広島西RC

検索



例会日・木曜日 12:30~13:30

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78

例会場・ANAクラウンプラザホテル広島

リーガロイヤルホテル広島13F

会長 香川 基吉

TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870

幹事 新原 靖

E-mail : hwrc@godorc.gr.jp

作成・会報雑誌・広報委員会